

【香港】

7-8月の市場動向トピックス

- 2019年7月の訪日香港人数は、前年同月比4.4%減の216,800人であった。
- 2019年8月の訪日香港人数は、前年同月比4.0%減の190,300人であった。
- 新規就航・増便等による航空座席供給量の増加はあったものの、台湾、タイなど安価に楽しめる旅行先が引き続き好評であることに加え、7月は1日の祝日を含む3連休に伴う旅行需要の一部が6月に移り、8月は大規模デモ等抗議活動の影響による空港の閉鎖もあり、訪日者数は前年同月を下回った。

7-8月の主なプロモーション活動

- 7月17日から23日にかけて、香港・湾仔で開催された香港最大の見本市「第30回香港ブックフェア」に出展し、訪日レポート率が高い香港市場からの更なる訪日促進のため、新しいプロモーションテーマを発表した。新たなテーマは『日本 總有再去的理由』(訳:日本にはいつももう一度訪れる理由がある)で、これまで多く取り上げてきた「女性の旅」だけでなく、家族やカップル、友達同士での旅行など、様々な旅行スタイルであらゆる世代の香港人に生涯に渡って訪日旅行を楽しんでもらおうという意味が込められている。会場では、新コンセプトに基づき制作した特設サイト・プロモーション映像の紹介や、インフルエンサーによるプレゼンテーションなどを実施し、訪日旅行、特に地方への旅行の魅力を紹介した。(新特設サイトはこちら→<https://welcome2japan.hk/alwaysareason/>)



新テーマのロゴ



プレゼンテーションや観光冊子による情報発信



旅行スタイル別クリエイティブ

- 7月より香港のLCCである香港エクスプレス航空が下地島に新規就航したことを契機として、JNTO 香港の公式サイトおよびFacebookにてキャンペーンを実施した。「食」、「景観」などをテーマに、映像や写真で宮古旅行を紹介し、アンケートに答えて応募すると、抽選で香港-下地島間の往復航空券が当たるキャンペーンを実施することを通じて、新たな旅行先としての認知度向上および旅行意欲増進を図った。



キャンペーンページ



「食」、「景観」、「琉装」をテーマとした情報発信